

Back Number

本論文は

世界経済評論 2021 年11/12月号

(2021 年 11 月発行)

掲載の記事です



世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー 読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp

雑誌のオンライン書店

現代欧州統合論 ：EUの連邦的統合の深化と イギリス

東北大学名誉教授 田中 素香



[著者] 見玉昌己 (こだま まさみ)
久留米大学教授
[発行] 成文堂, 2021年3月
[判型] A5判, 328ページ
[定価] 本体5000円+税

本書は、欧州議会を中軸に据えたスケールの大きなEU統合論である。日本では欧州議会への注目度は高くないが、今や認識を改めるべき時期であろう。

「はしがき」にいう。EUは欧州「連合」と呼ばれるが、欧州連邦に向かいつつある。EUの立法機関、欧州議会の発展を見ない限り、そのことは分らない。今日EUと加盟国が激しく対立するのは、EUの連邦性と加盟国のナショナル性が衝突するからだ、すべての加盟国が中小国であるEUは連邦化にしか将来を見いだせない。英国がEUを離脱したのは、EUの連邦化に耐えきれなかったからだ。

欧州議会は5年に一度の選挙によりEU市民を直接に代表する。加盟国を代表する首脳会議

や閣僚理事会と並立するのだ。重要なEU法令は閣僚理事会と欧州議会の共同決定による。外国との条約・協定は欧州議会の賛成がない限り発効できない。

メルケル首相が主導しEU首脳会議が合意したEU中国投資協定CAIの批准を欧州議会は今年5月覆した。「欧州議会の発展を見ない限り、EUの統治構造とその性格は理解が深まらない」と著者は言う。ブルージュの欧州大学院に学び、EUの要職にある同期生と意見交換する著者ならではの研究成果である。

第4章では、モノ、サービス、カネ、ヒトの域内自由移動を実現したEU単一市場が「価値の共同体」としてのEUを体現すると、経済オンリーの理解をいましめる。リスボン条約以後の欧州議会の権限の上昇、議会を構成する欧州政党と院内会派の説明がなされる。5章と6章では、英国のEU離脱とEUの連邦化の動きの連関、英離脱の欧州議会への様々なインパクトを説明する。

7章から9章では2014年と2019年の欧州議会選挙を題材に、議員の党派構成、比例代表制の選挙制度ゆえに欧州議会に大量進出する仏伊蘭などの極右ポピュリストの伸張(14年)と凋落(19年)を分析する。欧州議会の政党・会派・議員構成などのデータも貴重だ。欧州議会の民主主義諸会派は極右ポピュリスト政党の抑え込みに協力を強めてきた。

10章ではコロナ危機克服のための復興基金創設の過程を加盟国の対立などを含めて説明し、アメリカ13州が連邦化へと舵を切った18世紀末の歴史的事件と対比する。

2章では、2010年代に外国刊行の原書と合致しない歪んだ翻訳タイトルを付けた多数の邦訳書、「ユーロ崩壊」「EU解体」を声高に叫んだエマニュエル・トッドら内外のエセ理論家や評論家をなで切りにする。溜飲を下げる読者は少なくないかもしれない。

(たなか そこう)